

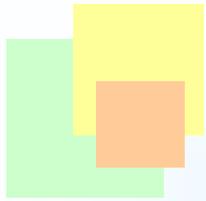
# 2008年5月期 決算説明資料

---

2008年7月7日



 **三菱子産業株式会社**  
( 証券コード: 3321 )



# 目次

2008年5月期 決算概要

2009年5月期の見通し

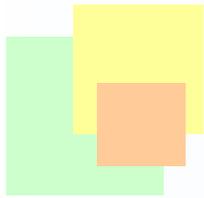
当社を取り巻く環境

および今後の見通し

[参考]ミタチ産業グループの概要

## 将来の予想に関する注意事項

本資料は、当社が現時点で把握可能な情報に基づいて判断した業績予想を記載しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがあります。



# 2008年5月期 決算概要

# 連結決算実績

Creative Innovation  
for the Future

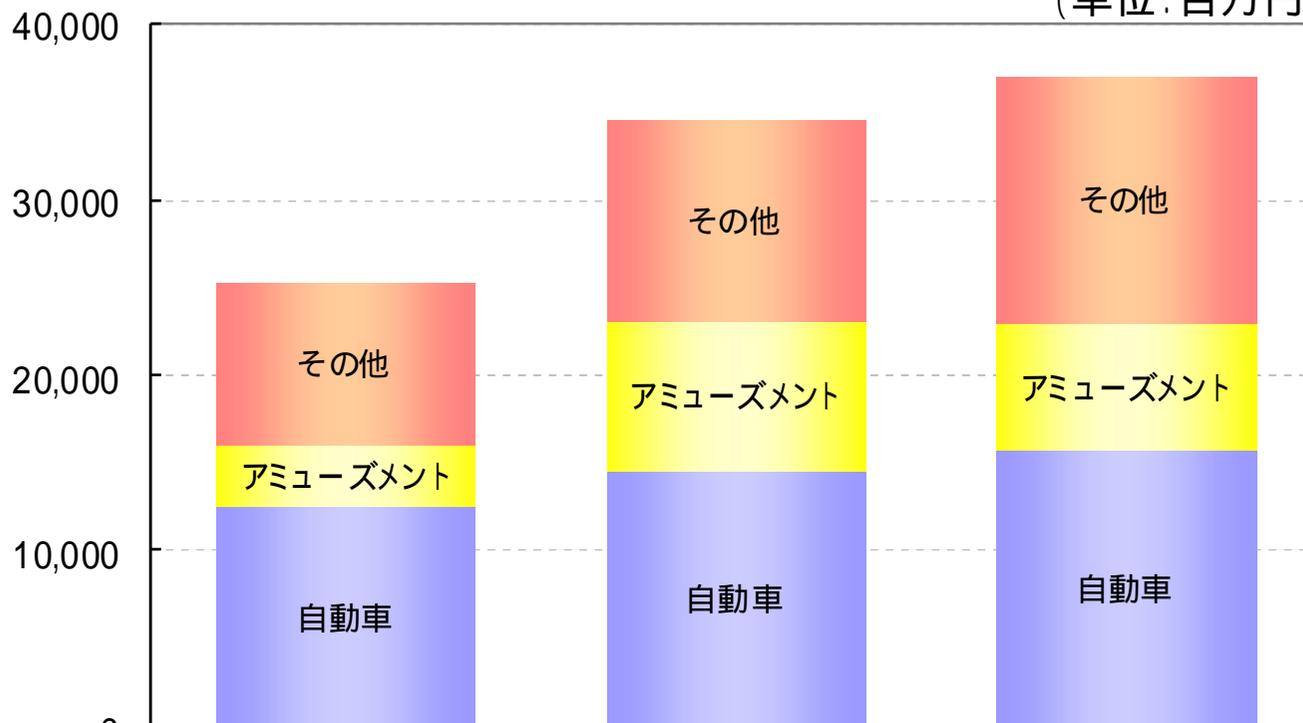
(単位:百万円)

	2006年5月期		2007年5月期		2008年5月期		
		百分比		百分比		百分比	前期比
売上高	25,380	100.0%	34,601	100.0%	37,034	100.0%	+ 7.0%
売上総利益	2,566	10.1%	3,234	9.3%	3,245	8.8%	+ 0.3%
販売費及び 一般管理費	1,851	7.3%	2,257	6.5%	2,314	6.3%	+ 2.5%
営業利益	714	2.8%	976	2.8%	930	2.5%	- 4.7%
経常利益	803	3.2%	1,104	3.2%	950	2.6%	- 14.0%
当期純利益	473	1.9%	620	1.8%	493	1.3%	- 20.4%

# 分野別 連結売上実績

Creative Innovation  
for the Future

(単位:百万円)

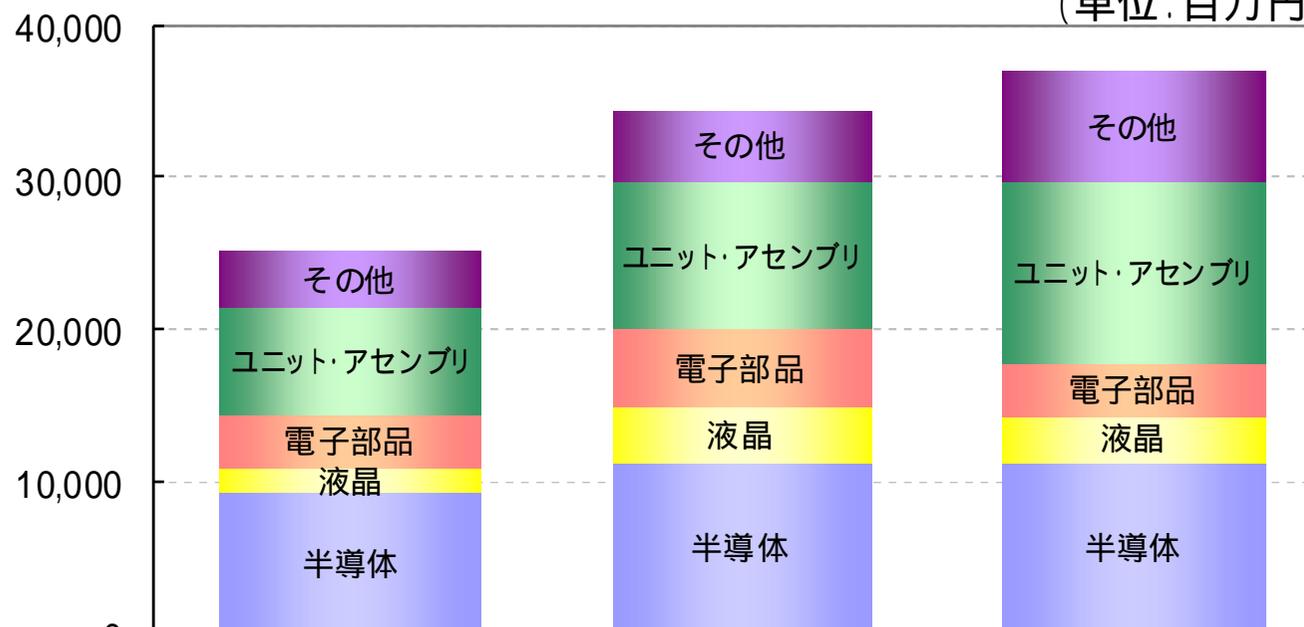


	2006年 5月期		2007年 5月期		2008年 5月期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
自動車	12,628	49.7%	14,663	42.4%	15,926	43.0%	+ 8.6%
アミューズメント	3,494	13.8%	8,563	24.7%	7,180	19.4%	- 16.1%
その他	9,257	36.5%	11,375	32.9%	13,927	37.6%	+ 22.4%
合計	25,380	100.0%	34,601	100.0%	37,034	100.0%	+ 7.0%

# 商品別 連結売上実績

Creative Innovation  
for the Future

(単位:百万円)



	2006年5月期		2007年5月期		2008年5月期		前期比
	売上	構成比	売上	構成比	売上	構成比	
半 導 体	9,309	36.7%	11,397	33.0%	11,392	30.8%	- 0.0%
液 晶	1,683	6.6%	3,701	10.7%	2,976	8.0%	- 19.6%
電 子 部 品	3,538	13.9%	5,058	14.6%	3,529	9.5%	- 30.2%
ユ ニ ッ ト ・ ア セ ン ブ リ	7,096	28.0%	9,765	28.2%	11,939	32.3%	+ 22.3%
そ の 他	3,751	14.8%	4,679	13.5%	7,195	19.4%	+ 53.8%
合 計	25,380	100.0%	34,601	100.0%	37,034	100.0%	+ 7.0%

# 連結貸借対照表

Creative Innovation  
for the Future

(単位:百万円)

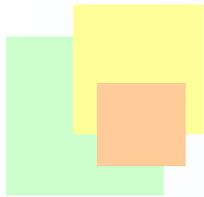
	2007年5月期	2008年5月期	増減
流動資産	12,928	11,229	-1,698
現金及び預金	1,292	1,237	-54
受取手形及び売掛金	8,495	7,430	-1,065
たな卸資産	2,808	2,181	-627
その他流動資産	331	379	+48
固定資産	1,843	1,677	-166
資産合計	14,771	12,906	-1,864
負債	10,015	7,940	-2,074
支払手形及び買掛金	6,401	4,934	-1,467
有利子負債	2,785	2,421	-363
その他の負債	828	584	-243
純資産	4,756	4,966	+209
株主資本	4,645	4,955	+309
その他の純資産	110	10	-100
負債純資産合計	14,771	12,906	-1,864

# 連結キャッシュ・フロー計算書

Creative Innovation  
for the Future

(単位:百万円)

	2007年5月期	2008年5月期	増減
営業キャッシュ・フロー	-399	643	+1,042
投資キャッシュ・フロー	-223	-110	+112
財務キャッシュ・フロー	614	-545	-1,159
換算差額	5	-37	-42
現金等増減額	-3	-50	-46
現金等の期首残高	1,156	1,257	+100
新規連結による現金等増減額	103	-	-103
現金等の期末残高	1,257	1,206	-50



# 2009年 5 月期の見通し

# 2009年5月期 連結業績見通し

Creative Innovation  
for the Future

(単位:百万円)

	2008年5月期		2009年5月期						
	通期		上期		下期		通期		
	実績	百分比	予想	百分比	予想	百分比	予想	百分比	前期比
売上高	37,034	100.0%	17,040	100.0%	20,960	100.0%	38,000	100.0%	+ 2.6%
売上総利益	3,245	8.8%	1,470	8.6%	1,810	8.6%	3,280	8.6%	+ 1.1%
販売費及び 一般管理費	2,314	6.3%	1,240	7.3%	1,190	5.7%	2,430	6.4%	+ 5.0%
営業利益	930	2.5%	230	1.3%	620	3.0%	850	2.2%	- 8.7%
経常利益	950	2.6%	260	1.5%	640	3.1%	900	2.4%	- 5.3%
当期純利益	493	1.3%	150	0.9%	380	1.8%	530	1.4%	+ 7.4%

# 分野別 連結売上見通し

Creative Innovation  
for the Future

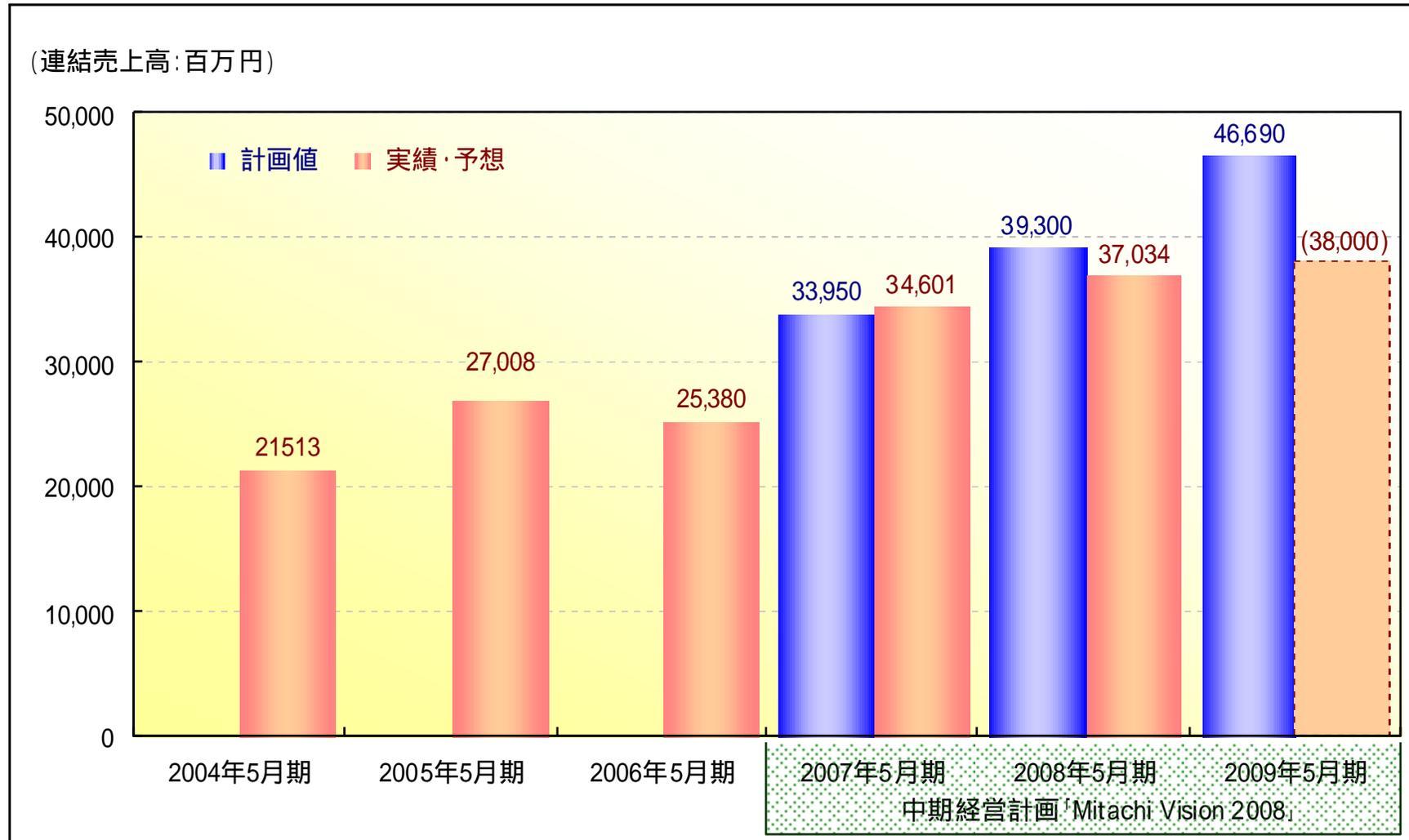
(単位:百万円)

	2008年5月期		2009年5月期						
	通期		上期		下期		通期		
	実績	構成比	予想	構成比	予想	構成比	予想	構成比	前期比
自動車	15,926	43.0%	7,740	45.4%	8,600	41.0%	16,340	43.0%	+ 2.6%
民生	-	-	3,880	22.8%	4,650	22.2%	8,530	22.5%	-
アミューズメント	7,180	19.4%	2,150	12.6%	4,060	19.4%	6,210	16.3%	- 13.5
その他	13,927	37.6%	3,270	19.2%	3,650	17.4%	6,920	18.2%	+10.9%
合計	37,034	100.0%	17,040	100.0%	20,960	100.0%	38,000	100.0%	+ 2.6%

2009年5月期より「その他」から民生分野向け売上高を「民生」として分離。前期比は「その他」に含めて計上。

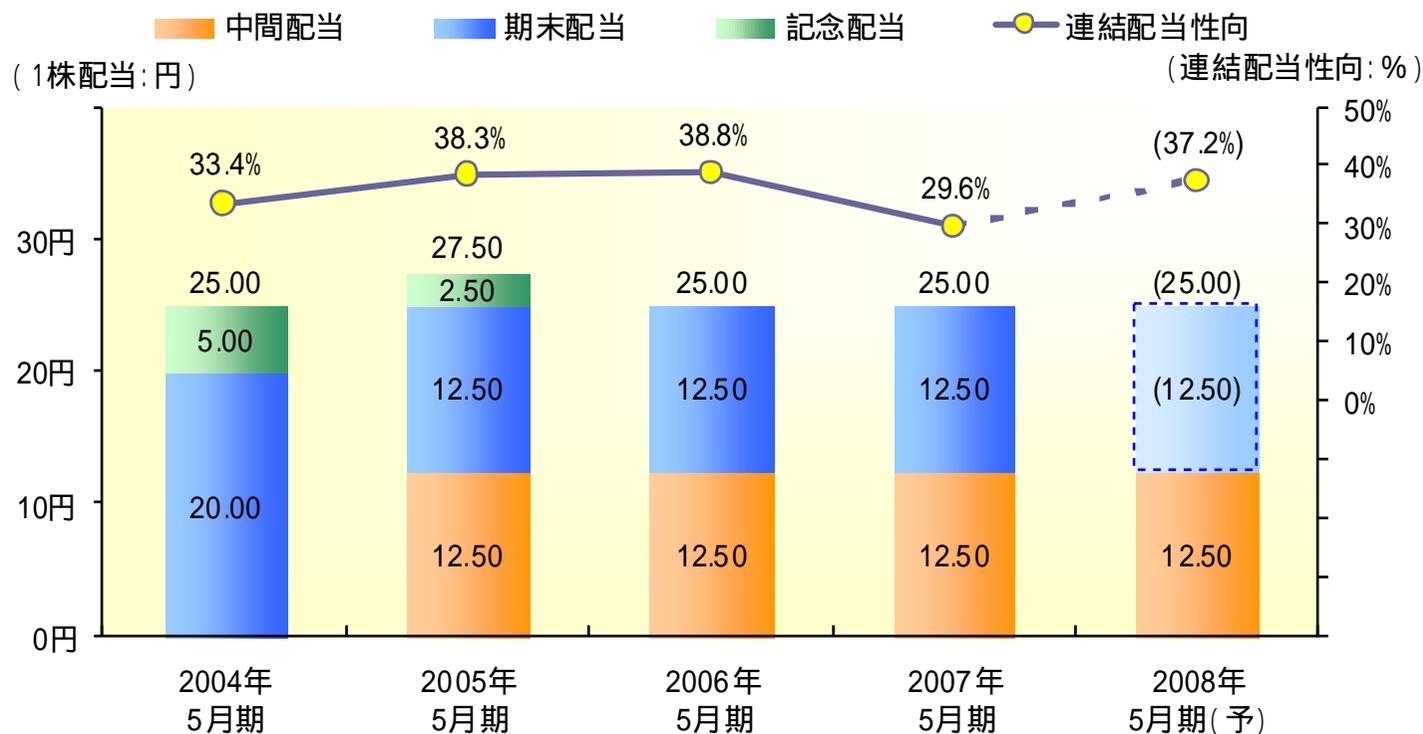
# 中期経営計画と実績・予想について

Creative Innovation  
for the Future



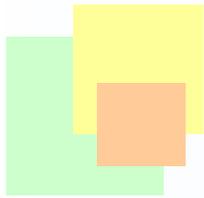
## 2008年5月期 年間配当 1株につき25.00円

配当金総額183百万円(連結配当性向 37.2%)



2004年5月期は、東証・名証各二部上場記念配当を行っております。

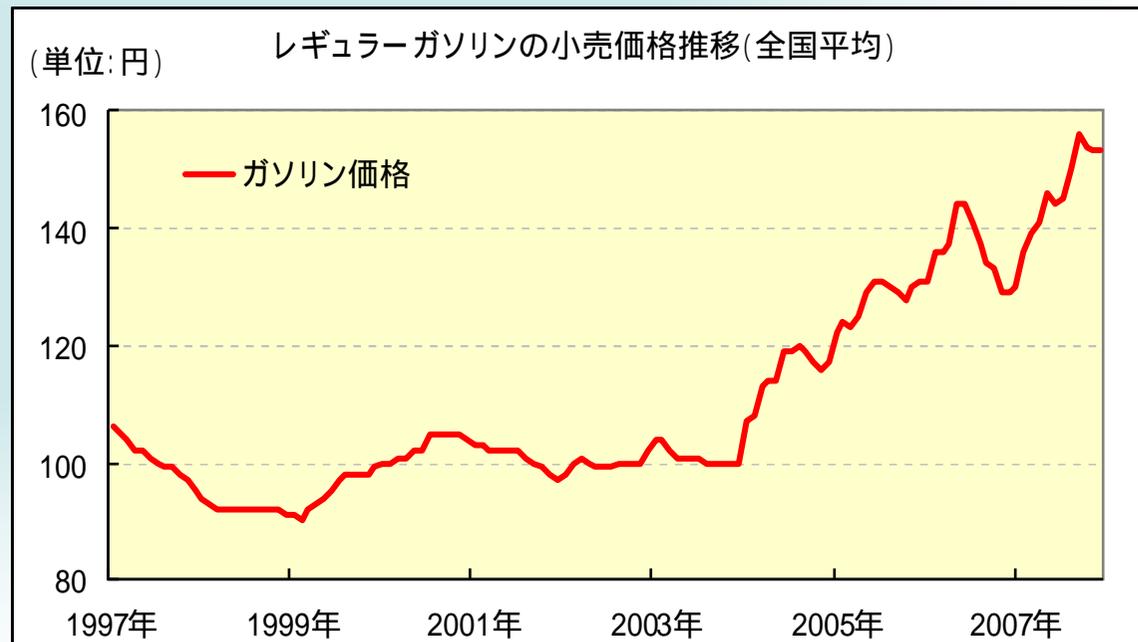
2005年5月期は、東証・名証各一部指定記念配当を行っております。



# 当社を取り巻く環境 および今後の見通し

国内の自動車販売台数は伸び悩みの傾向もみられるが、環境問題や燃料価格の高騰を背景として、ハイブリッドカーなどエコカーの伸展については、期待が高まる一方！

安全性、快適性の更なる進化にともないエンジンやブレーキ制御、キーレスなどへの電子部品需要が高まる！



データ出所:財団法人日本エネルギー経済研究所 石油情報センター

民生分野においては光源・照明用途として“光半導体”の市場拡大が見込まれる

光源としては小型液晶のバックライトから中型液晶、そして大型液晶への採用が今後増加していく見通し！

一般照明分野における市場拡大は今後急ピッチで伸展！  
屋外・屋内照明ともに光半導体への切り替え進む？



アミューズメント業界は「安く、長く、楽しく、女性客も」遊べる  
大衆娯楽へと変貌！？

業界は一大変革期に突入！ 先行きは不透明だが・・・？？？

ユーザーに“見て”楽しんでもらうためLEDの採用数が増加！

LED搭載数は  
台あたり200個～400個の  
時代に！！



# 分野別今後の見通し

分野	今後の見通し	
自動車		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイブリッドカー用駆動・発電モーターは、北米市場のハイブリッドカー人気を受け、今後も伸展する見通し。</li> <li>・カーナビ市場は今後も伸長する見通しであるが、PNDの台頭などもあり、楽観はできない状況。</li> <li>・スマートキーなど自動車関連分野における電子部品需要は概して旺盛であり新規商材の受注獲得を目指す。</li> </ul>
民生		<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生向け光半導体は、“光革命”をキーワードとして、小型液晶のバックライトから、今後は中・大型液晶への搭載が見込まれるなど、光源・照明用途としてのさらなる市場拡大が期待される。今後も同ビジネスを中心として、民生分野は伸展する見通し。</li> </ul>
アミューズメント		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アミューズメント業界は一大変革期に突入しており、先が読みにくい状況。</li> <li>・ユニット製品など付加価値商品の受注拡大などにより、今後同分野のビジネス拡大を図る方針。</li> </ul>
その他 (ソリューション等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・工作機械関連の受託加工は当面の横ばい推移を見込む。</li> <li>・今後は新規商材や自社ブランド製品など、高付加価値商品の拡販を推進し、新規分野の開拓に努める方針。</li> </ul>

 今後の見通し

# 新規ビジネスへのチャレンジ 「OXYFIT」

Creative Innovation  
for the Future

健康関連市場への第一歩。“空気”が売れる時代が到来！！



携帯型高濃度酸素空気発生装置  
「OXYFIT」

「健康博覧会2008」に出展。好評を得る



## 多機能情報端末「MIU FACE」

オーダーエントリーシステムや広告配信端末など多様なニーズに対応

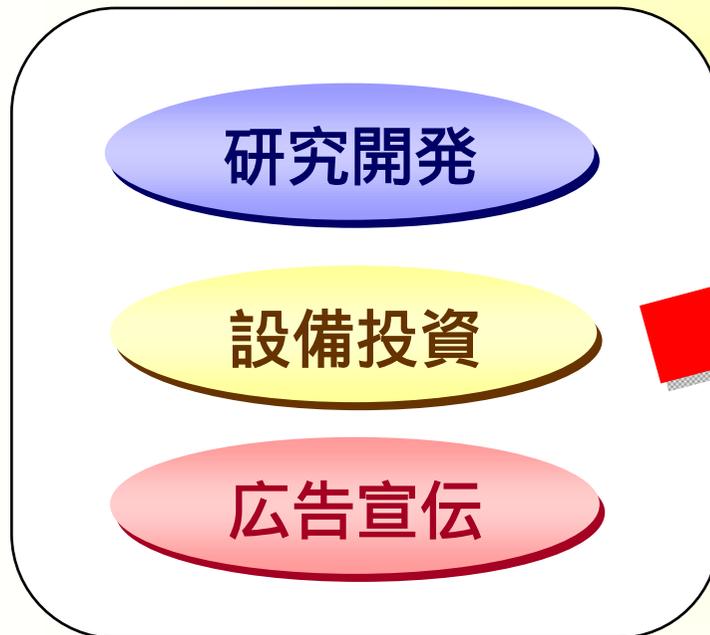
FeliCa対応、無線通信（無線LAN、PHS）、タッチパネル、動画再生機能

受託開発の強化（カスタム製品）

「MIU FACE」使用時の画面イメージ



ミタチは将来に向けての布石として、今後研究開発体制を含めたメーカー機能の強化・拡充を図ってまいります



メーカー機能を強化・拡充！



# フィリピン工場 (M.A. TECHNOLOGY) の事業展開

*Creative Innovation  
for the Future*

顧客のグローバル調達拡大にともない、今後益々重要な役割を担う

光半導体OEM生産

車載向けボードアセンブリ

アミューズメント向けユニット生産



第一工場



第二工場

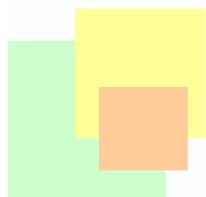
## 自動車関連を中心とする日系メーカーおよび中国現地メーカー向けの拡販体制を強化！

2008年8月に中国（華南地区）の営業拠点として「美達奇電子（深圳）有限公司」を設立予定

● 敏拓吉電子（上海）

● 台湾美達旗股份

● 美達奇（香港）



## **[参考]ミタチ産業グループの概要**

本社所在地 : 名古屋市中区

設立年月 : 1976年7月 (創業年月 : 1972年9月)

資本金 : 5億2160万円 (2008年5月末)

代表者 : 代表取締役社長 橋 至朗

従業員数 : 連結664名 (2008年5月末)

単独143名 (2008年5月末)

上場市場 : 東証一部・名証一部

事業内容 : 半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造



# グループの構成

ミタチ産業グループは国内2社、海外4社の計6社にて構成されています。



	主な機能・役割
ミタチ産業	半導体、電子部品、電子機器などの販売、製造
大洋電機	電子部品の製造、電子機器のOEM生産
M.A.TECHNOLOGY	光半導体、カーエレクトロニクス用制御基板、OA関連受託生産
美達奇(香港)	海外進出日本企業および現地企業向け電子部品の販売
台湾美達旗股份	電子部品の国内向け調達
敏拓吉電子(上海)	電子機器・部品の国内向け調達



# 社名の由来とシンボルマークについて

Creative Innovation  
for the Future



お客様

当社  
株主様

仕入先様

当社の社名は三つで成り立つ(お客様、当社、仕入先様)という三位一体の精神に由来しています。

また当社のシンボルマークはミタチのイニシャル「M」と「ガールの水道橋」のアーチをモチーフに生まれました。

 ミタチ産業株式会社

Copyright©2008 MITACHI CO.,LTD. All Rights Reserved.

## ミタチの精神的基盤となっている5つの「経営哲学」

顧客第一主義

人間尊重

一流へのチャレンジ

創造的革新

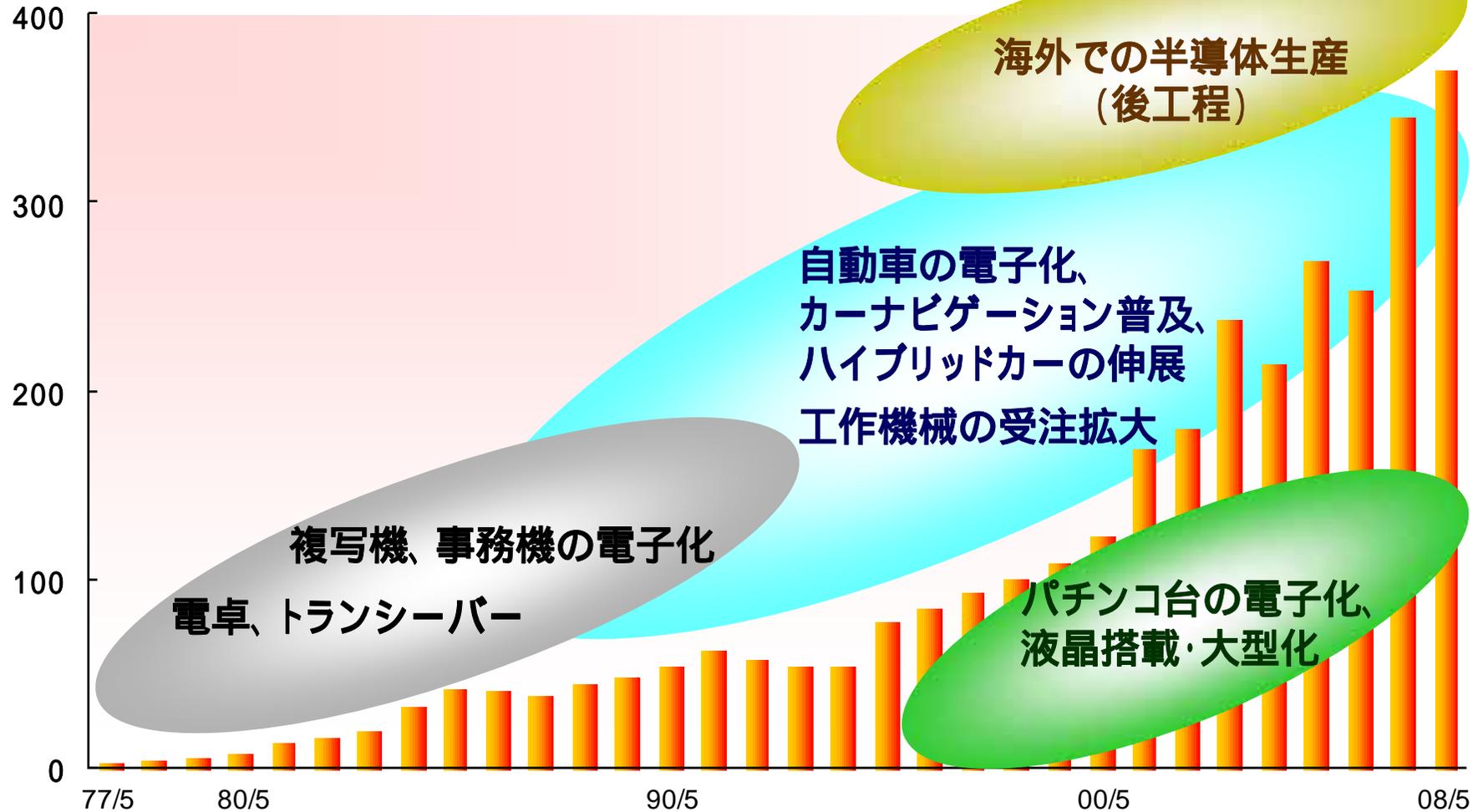
企業の社会的貢献

# 事業の変遷および業績推移

Creative Innovation  
for the Future

当社は時代のニーズに合わせて自らを変革し、発展を遂げてまいりました。

(売上高:億円)





 **三ツ子産業株式会社**

<http://www.mitachi.co.jp>

お問い合わせ先：経営企画グループ TEL：052-332-2512  
URL：www.mitachi.co.jp/ir